平成29年度 石狩市教育委員会会議（12月定例会）会議録

平成29年12月26日（火）

開 会 13時30分

第2委員会室

○委員の出欠状況

委 員 氏 名	出席	欠席	備 考
教育長 鎌 田 英 暢	○		
委 員 門 馬 富士子	○		教育長職務代理
委 員 松 尾 拓 也	○		
委 員 山 本 由美子	○		
委 員 永 山 隆 繁	○		

○会議出席者

役 職 名	氏 名
生涯学習部長	佐々木 隆 哉
生涯学習部次長（教育指導担当）	松 井 卓
生涯学習部次長（社会教育担当）	東 信 也
総務企画課長	安 崎 克 仁
学校教育課長	佐々木 宏 嘉
文化財課長	工 藤 義 衛
浜益生涯学習課長	笹 富 雄
教育支援センター長	開 発 克 久
市民図書館副館長	清 水 千 晴
学校給食センター長	小 島 工
生涯学習部参事（指導担当）	照 山 秀 一
総務企画課主幹	松 永 実
総務企画課総務企画担当主査	古 屋 昇 一

議事日程

日程第 1 署名委員の指名

日程第 2 議案審議

議案第 1 号 平成29年度石狩市教育委員会表彰受賞者の決定について

議案第 2 号 石狩市いじめ防止基本方針の改定について

日程第 3 教育長報告

日程第 4 報告事項

① 平成29年度石狩市教職員研修「ウインターセミナー」について

日程第 5 その他

① いじめ防止対策組織について

日程第 6 次回定例会の開催について

開会宣言

(鎌田教育長) ただ今から、平成 29 年度教育委員会会議 12 月定例会を開会します。

日程第 1 会議録署名委員の指名

(鎌田教育長) 会議録署名委員の指名ですが、松尾委員にお願いします。

日程第 2 議案審議

(鎌田教育長) 日程第 2 議案審議を議題とします。議案第 1 号「平成 29 年度石狩市教育委員会表彰受賞者の決定について」は、石狩市教育委員会会議規則第 15 条第 1 項第 3 号に該当しますので、非公開案件として、後ほど審議し

たいと思いますが、ご異議ありませんか。

異議なし

（鎌田委員長）ご異議なしと認め、非公開とすることに決定しました。次に、議案第2号 石狩市いじめ防止基本方針の改定について、事務局より提案願います。

（佐々木生涯学習部長）議案第2号「石狩市いじめ防止基本方針の改定について」ですが、本件につきましては9月の教育委員会会議で原案を報告させていただいておりましたが、その後、パブリックコメント手続きを経まして最終案を取りまとめたところでございます。本日はパブリックコメントでいただいた意見の取扱いも含めて、最終的な改定内容を確定するために提案をさせていただいております。詳細については、開発教育支援センター長から説明いたします。

（開発教育支援センター長）私から、議案第2号「石狩市いじめ防止基本方針の改定について」提案させていただきます。本年9月の教育委員会会議において改定素案についてご意見を頂戴した後、11月1日から30日までの1ヶ月間、パブリックコメントを実施いたしました。この期間に提出された意見は、お二人から合計12件ございました。寄せられた意見と検討結果については、資料3～7ページにかけて記載しております。寄せられた意見への対応としましては、「採用、不採用、記載済み、参考、その他」の5つのカテゴリーに分けることとし、事務局において検討した結果、原案への採用・反映は2件、不採用は2件、既に原案への記載済みは5件、参考は0件、ご質問・ご意見として伺うとする「その他」は3件、と整理しております。原案への採用は2件で整理番号では8番と10番、不採用ではあるものの原案へ反映したのは2件、整理番号では2番です。それでは、原案への反映状況について、別冊「石狩市いじめ防止基本方針の改定」でページの順に沿ってご説明いたします。まず8ページをお開き願います。まず4行目のウ)をご覧ください。下線部分は原案に修正・追加した部分を指しています。これは、「整理番号8番」により、新たに追加するものとなっております。この8番につきましては、些細な事案であっても学校はそのいじめの背景にある調査を行い、いじめと判断した場合は市教委に報告するというを踏まえまして、原案に追加するものがございます。次に、10ページの「(3)学校におけるいじめの防止等に関する取組」の本文をご覧ください。これは、整理番号2番により、新たに追加するもので

あります。この2番につきましては、意見の趣旨としまして報告や相談は、強制されてではなく、自らの規範意識に沿って当然のこととして行うようにしていくことが大切であるという検討内容を踏まえまして追加するものであり、いじめに対して傍観者とならず、学校いじめ対策組織に報告するなどの措置をとる重要性を理解させるとして、この主語について「児童生徒に対しては、」を新たに付け加えることとしたものです。次に11ページの「カ」をご覧ください。これは整理番号10番により、新たに追加するものです。意見の要旨としましては、「しつこいくらいの周知により保護者の意識改革を促す」という意見の要旨に基づきまして、一部修正・追加をするものでございます。修正後としまして、日頃の学校の取組内容を「PTAの会議、参観日、学級懇談会に加え、学校ホームページ、学校だよりで周知するなど、保護者や地域への情報発信を徹底するよう努める」と修正してしました。次に、11ページ「②いじめの早期発見」の「イ」をご覧ください。これは整理番号2番により、新たに追加するものです。この寄せられた意見、要旨に対する検討内容としましては、先ほど説明しましたとおり、報告あるいは相談につきましては、自らの規範意識に沿って当然のこととして行うということが大切であるとともに、そのための環境づくりが求められているというふうに考えまして、この部分を新たに追加するものです。児童生徒の生活実態について、定期的なアンケート調査や個別面談、交換ノートを活用等、「いじめを訴えやすい環境を整えることにより、」きめ細やかな把握に努めるというように修正しております。また、事務局で方針内容を再検討したところ、北海道教育委員会から11月28日付けで北海道いじめ防止基本方針の改定素案についての通知があり、今回の改定案で幼児期の教育についてが、新たに追加されておりました。本市の原案では幼児期教育に関する記載が無かったことから、この度の道教委の改定案を踏まえ、7ページの「カ」を追加することとしました。「幼児期の教育においても、発達段階に応じ、相手を尊重する気持ちを持って行動できるよう取組を推進することや、幼児や保護者に対するいじめの未然防止の取組を推進する」を新たに追加したところがあります。なお、検討結果として不採用、記載済み、その他とした意見につきましては、資料4～7ページにおいて、検討内容のところにその理由を付しております。このように原案の修正につきましては、パブリックコメント等を踏まえ計5ヶ所行った上で、ここに石狩市いじめ防止基本方針の改定について提案するものでございます。私からは以上です。

(鎌田教育長) ただ今、事務局から提案説明のありました議案第2号につきまして、ご質問等がありますか。

(松尾委員) 最後に、説明のありました幼児期の教育についての取組を追加したことなのですが、具体的な項目というのは、今のところ何かイメージはあるのでしょうか。

(開発教育支援センター長) 本年3月に幼稚園教育要領、また保育所保育指針等が改定されております。この部分で幼児期教育について、忍耐力、自己制御、自尊心などのいわゆる被認知能力を、幼児期に身に付けることが大切であるという趣旨のことが謳われております、具体的な周知等につきましては、保健福祉部の担当課とどのような周知の方法が相応しいか、今後具体的に詰めていきまして、保育園、幼稚園等にいじめ防止についての周知徹底を図ってまいりたいと考えております。

(松尾委員) わかりました。

(鎌田教育長) 他にございますか。

質問なし

(鎌田教育長) 他に質疑等がないようですので、議案第2号については、原案どおり可決ということによろしいでしょうか。

異議なし

(鎌田教育長) ご異議なしと認め、議案第2号については、原案どおり可決しました。

日程第3 教育長報告

(鎌田教育長) 日程第3 教育長報告を議題とします。お手元に配布しております内容ですが、私から1点だけ報告させていただきます。昨日12月25日に法改正に伴う小中学校事務職員の果たす役割等検討会議が開催されました。学校教育法の一部改正に伴って、学校事務職員の職務内容の明確化と、それと合わせて共同学校事務室等による事務の効率化、あるいは平準化を目指すための具体的な内容をどうするのかという検討会議が発足されました。これにつきましては、北海道の小中学校の校長会及び教頭会、公立小中学校の事務職員協議

会、北海道の町村教委連、そして私が北海道の都市教委連の代表ということで8名のメンバーで最初の会議が開かれたものでございます。続いて、事務局から第4回市議会定例会がありましたのでご報告いたします。

(佐々木生涯学習部長) 私から、第4回市議会定例会の状況について報告いたします。まず議案関係といたしましては、社会教育施設の指定管理者の指定についての議案を提出し、原案どおり可決いただきました。また一般質問につきましては、12月6・7日の2日間にわたりまして、11人の質問者が立ち、6人の議員から教育関係の質問をいただきました。内容といたしましては、お手元のプリントにあるとおりですが、特に新聞等で報道されている項目についての質問が多かったように感じております。まず1つ目は、教員の働き方改革や多忙な勤務実態等に関し、和田議員から学校の閉庁日に係る質問がありました。これにつきましては、新年度から夏と冬、各1日を目処として、具体的には学校が閉庁日を設定していきますという答弁をしております。また、長原議員からは、部活動の指導員を導入すべきではないかという質問があり、文科省で制度改正が行われましたが、まだ具体の導入にあたっては諸課題もあることから、当面は従来の外部指導者やボランティアの活用をしていきますという答弁をしております。また、部活動を週休2日とすることについて、現在、石狩管内は週休1日ということの申し合わせで行っておりますが、札幌市では週休2日としていることもございまして、管内の教育長部会でも統一的な取組が必要という意見が出されているほか、国や道でもアクションプランを検討しているということでもありますので、それらを見極めたうえで効果的な部活動の在り方を検討していくといった内容の答弁をしております。次に2つ目は、制服などの保護者負担についての質問があり、長原議員からは良質で安価な制服の確保に向けて、教育委員会としても学校に必要な取組をするように働きかけをしますという答弁をしております。また、神代議員からは、学校による制服購入に係る価格差についてどう考えるのかというご質問がありました。これについては、学校ごとに制服自体、物が違うので、一定の差が出てくるのは当然であろうということと、就学援助で制服購入などを全額補助できないかというご質問に対しては、現在、国の基準が必要な援助水準ということで設定されており、それに準じた支給をしておりますという答弁をしております。また、中古の制服を購入できるよう、教育委員会が斡旋するような取組ができないかというご質問もございましたが、PTAや民間による取引というものもございまして、現段階で教育委員会が関わるということは考えておりませんという答弁をしております。また、大阪府の高校で黒髪を強要したという報道があり、石狩市内ではどうなっているのかという質問がございましたが、市内ではそういった

ことはないといったことと、実際に校則というものは必要ですけれども、それは教育的な配慮と子どもの人権尊重というものが前提になっているということで、本当に黒髪を強要したということであれば、それは子どもの体の特徴を否定して人間の尊厳を損なうものだという、教育長としての見解を答弁しておりまして、これを学校にも伝えるということにしております。私からは以上です。

(鎌田教育長) ただ今、補足説明も含めて教育長報告について、ご質問等ありませんか。

(門馬委員) 12月25日の法改正に伴う小中学校事務職員の果たす役割等検討会議についてのご説明がありました。先生方の過重労働を是正しなければいけないということで、そのためには何ができるのか。例えば、事務職員が先生方の仕事を分担して受けるようにしてはどうかといったことが話題になっていると聞いています。この法改正では、まだそこまで踏み込んではいないのですね。

(鎌田教育長) 今回の改正の一番のポイントは、事務職員の職務の表現について、「事務に従事する」から「事務をつかさどる」という表現に替わっております。要するに主体的に実行し、責任を持って積極的に学校経営などに関わりを持つということになりますので、最終的には先生方の多忙な状況も少なからず関係してくるものと考えておりますが、具体的な部分は学校規模によっても違ってくるので、どのような形で統一的なものができるのかが大きなポイントになるものと思っております。実態を踏まえながら意見交換をしていく考えでおります。

(門馬委員) 職務内容を明確化するということが、事務の平準化という部分では、これまで学校毎に事務職員の事務内容が違っていたのでしょうか、統一的な事務分掌は無かったのでしょうか。

(鎌田教育長) 標準的な職務内容というのは当然あるのですが、プラスアルファが学校ごとに違ってきます。例えばPTA連合会の事務局を受け持ったり、地域との連絡調整を受け持ったり、全国的にその辺が相当あいまいな状況であったことから、それを是正していくということです。全国的には約6割でこのような動きがあるようなのですが、北海道はまだ全国的なレベルには至っておらず、これから取り組まなければならないのですが、学校によって規

模や地域性等が違うこと考えると、一概にこれだということとは言えないところもあるので、柔軟に対応していかなければならないと思っております。

(門馬委員) わかりました。

(鎌田教育長) 他にございませんか。

(永山委員) 議会での質疑の中で、制服に関連してですが、今年の春に市内学校の卒業式・入学式に出席させていただいたのですが、小学校の卒業式で最近多くなっている、女子の袴や着物について新聞等でも取り上げられていたのですが、やはり費用的にも大変なのでどうなのかなという感じがいたしました。制服ということはないのでしょうか。その辺は指導していくということにはならないのでしょうか。小学校でどのように扱うか、考えているのかということを知りたかったのですが。

(松井教育指導担当次長) 確かに現在の小学校の卒業式では、年々羽織袴で参加をする子どもが増えてきております。以前は、女子に限っていたのですが、最近では一部の男子も同じように、羽織袴を着るような状況になっております。学校としては、卒業証書の授与で演壇に上がるときに、履きなれない草履を履くのは多少危ない状況もありますので、保護者には卒業式にふさわしい服装で参加をするような呼びかけをしているところです。保護者や子ども達の意向もありますので、階段の上り下りには危険のないような履物や裾の長さなど、いろいろと注意点を出しながら、保護者には卒業式にふさわしい服装について啓発しているところです。年々増えてきているのが実状です。

(鎌田教育長) その時代の流行というのがあって、子ども達も親も非常に敏感になっているのかなと思っております。今、松井次長から申し上げたように、羽織袴の場合には、裾が長かった時に踏んで転ぶ危険性を伴うということもありますので、各学校で注意していると思えます。

(永山委員) わかりました。

(鎌田教育長) 他にございませんか。

質問なし

(鎌田教育長) それでは他に質問等がないようですので、教育長報告を了解と
いうことといたします。

日程第4 報告事項

(鎌田教育長) 日程第4 報告事項を議題とします。

報告事項①「平成29年度石狩市教職員研修(ウインターセミナー)について」

(鎌田教育長) 報告事項の①「平成29年度石狩市教職員研修(ウインターセ
ミナー)について」、事務局から報告をお願いします。

(照山指導担当参事) 平成29年度石狩市教職員研修ウインターセミナーにつ
いて報告させていただきます。昨日12月25日、市総合保健福祉センター(り
んくる)を会場に、教職員経験8年以下の市内小中学校の養護教諭・栄養教諭・
事務職員を含む全教職員を対象に実施しました。参加者数については、悪天候
のため厚田区・浜益区の教職員は参加できなかったのですが、合計82名の参
加がありました。研修内容ですが、2部構成で行っております、第1部はビジ
ネスマナーを中心として外部講師を招き実施しました。第2部としましては、
実践交流を中心として、先生方とのそれぞれの交流という形で進めております。
アンケートを現在集計しておりますが、第1部につきましては、「ビジネスマ
ナーについてこれまで研修する機会がなかったので研修したかった。」「再確
認できた。」というような意見を多くいただきました。第2部につきましては、
「各学校の様子があった。」「他の学校の実態・取組の様子も勉強になった。」「
今後、身だしなみや電話対応も含めて、第2部で交流した実践についても、
各学校で職務に生かしていきたい」といった感想もいただいております。私か
らは以上です。

(鎌田教育長) ただ今、事務局から報告がありました。この件について、ご
質問等ありませんか。

(門馬委員) 第1部のビジネスマナーの研修について、これまでこのような研
修を受ける機会がなかったという意見があったという報告がありました。特に
大学を卒業してすぐ教員になられる方は、4月から教壇に立つわけですから、

なかなか社会人としてのマナーを学ぶ機会が無いんだなあと、今、しみじみ思ったわけです。私達市教委がこういった研修を組むということは先生方にとって有意義であり、とても良い研修であったと感じました。

(松尾委員) 昨日、私と永山委員も研修の様子を視察させていただき、門馬委員と同じ感想を持ったところで、参加された先生方にとってはこれまで大変だったのではなかったかと率直に思いました。名刺交換の実技研修もありましたが、私の目から見ると少々ぎこちなくされているシーンなどもあり、普段行われる機会がないのだろうと思いつつながら、このような研修は本当に有意義であると感じました。第2部の分科会も拝見させていただきましたが、養護教諭や栄養教諭、事務職員のグループにベテランの先生が入り、それぞれ仕事をする上での注意点が話されていたりして、とても貴重な機会であるように感じました。

(永山委員) 私も参加させていただき、ビジネスマナーということで松尾委員からお話がありましたように、名刺交換や電話応対等の基本的なことは確かに必要で、グループ討議で発表された方の一人が、初めてこのような研修を受けて、一般的には大学を卒業して、企業に就職採用された直後は見習期間や職員研修が行われるけれども、教員の場合には、学校に配属されてすぐに先生になってしまうということで、大変良かったという話をされておりました。かねてより私も、学校教員のいわゆる社会人教育が非常に重要であると思っております。昨日の内容からもう一步踏み込んだ内容の研修を行って強化していく必要があるのではないかと感じました。以上です。

(鎌田教育長) 二人の委員からの感想、意見について、事務局から何かありませんか。

(照山指導担当参事) はい。事務局としましても、昨日実施してもう少し踏み込んだ内容でも良かったと感じております。すでに十分理解されている方が多いのではないかなというところもありましたが、実際にはよくわかっていないところもあり、アンケートの結果でも、もっと知りたかったという声が多くありました。いただいたご意見について検討し、次年度以降の内容を決定させていただきたいと思っております。

(鎌田教育長) 他にございますか。

質問なし

(鎌田教育長) 他に質問等がないようですので、報告事項①を了解ということ
でよろしいでしょうか。

異議なし

(鎌田教育長) ご異議なしと認め、報告事項①を了解しました。

日程第5 その他

(鎌田教育長) 日程第5 その他を議題とします。その他の①「いじめ防止対
策組織について」、事務局より説明をお願いします。

(開発教育支援センター長) いじめ防止対策組織について、口頭でご説明申し
上げます。いじめ防止基本方針の6ページ、第2章「1」(1)で定めている
2つの組織、「石狩市いじめ問題対策連絡協議会」と「石狩市いじめ問題調査
委員会」につきまして、条例に基づき設置する附属機関として明記しておりま
す。平成30年4月1日施行に向けて、現在、設置に係る条例案の内容の検討
とともに、各組織のメンバーとして予定している方々との交渉を本格化させて
まいりたいと考えております。私からは以上です。

(鎌田教育長) ただ今、事務局から組織についての説明がありました。この
件について、ご質問等ありませんか。

(永山委員) 最近の新聞報道等を見ますと、全国で様々ないじめに関する問題
が起きていて、自殺まで及んでしまったケースも報道されています。各自治体
でも対応方針というものはきちんと整備されているとは思いますが、初期対応
のところで見逃してしまうというケースが多いため、初動
のところをどうしていくかということについては、もっと熟慮して講じていく
必要があるのではないかと思います。最初に相談を受けたときに、教員が一人
で対処するのではなく、学校内で全て共有化する必要があるため、その体制を
しっかり構築していかなければならないと思います。

(開発教育支援センター長) 永山委員のご意見のとおりだと思います。例えば、
冷やかし、からかいなどの初期の段階から早期に対応して解消する、どんな些

細なことも、常にアンテナを高く保つということだと思います。今回、いじめ防止の基本方針の改定について決定されましたので、年明けの早い時期に校長会、教頭会にも説明をして参りたいと考えております。なお、平成 28 年度のいじめの認知件数がほぼ倍増しておりますが、これは先生方の早期対応の結果であると考えております。今後も学校において、早期に認知して目を摘みとるということを徹底されていくものと考えております。

(永山委員) わかりました。

(鎌田教育長) 他にございませんか。

質問なし

(鎌田教育長) 他に質問等がないようですので、その他①を了解ということでよろしいでしょうか。

異議なし

(鎌田教育長) ご異議なしと認め、その他①を了解しました。

日程第 6 次回会議の開催日程について

(鎌田教育長) 日程第 6 次回会議の開催日程を議題とします。次回については、来年 1 月 25 日の木曜日、10 時 00 分からの開催を予定しておりますので、宜しく願い申し上げます。

【非公開案件の審議等】

14 時 13 分～14 時 21 分

閉会宣告

以上をもちまして、12月定例会の案件は全て終了いたしました。以上で、平成29年度教育委員会会議12月定例会を閉会いたします。

閉会 14時22分

【非公開案件の審議等の結果】

議案第1号 平成29年度石狩市教育委員会表彰受賞者の決定について

原案どおり可決した。(質疑等省略)

会議録署名

上記会議の経過を記録し、その相違ないことを証するため、ここに署名します。

平成30年1月25日

教育長 鎌田英暢

署名委員 松尾拓也